

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 8 月 11 日 (2005.8.11)

【公開番号】特開 2003-288151 (P2003-288151A)
 【公開日】平成 15 年 10 月 10 日 (2003.10.10)
 【出願番号】特願 2002-90132 (P2002-90132)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 3/02

G 0 6 F 3/00

【F I】

G 0 6 F 3/02 3 1 0 A

G 0 6 F 3/00 6 5 6 A

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 1 月 25 日 (2005.1.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

操作者が操作して情報を入力するための入力手段と、情報を表示する表示手段を有する電子機器において、

前記入力手段が向きを変更できるように回転可能に設けられるとともに、

該入力手段の向きを検出する検出手段と、

該検出手段の検出結果に応じて前記表示手段の表示の向きを変更するように制御する制御手段を有することを特徴とする電子機器。

【請求項 2】

操作者が操作して情報を入力するための入力手段と、情報を表示する表示手段を有する電子機器において、

前記入力手段は、操作者が操作する操作部と、該操作部の操作に応じて入力データを発生する入力部からなり、操作部が入力部上で向きを変更できるように回転可能に設けられるとともに、

前記操作部の向きを検出する検出手段と、

該検出手段の検出結果に応じて前記表示手段の表示の向きを変更するように制御する制御手段と、

前記操作部の操作部位と、該操作部位の操作により前記入力部が発生する入力データとの対応関係が操作部の向きによりずれるのを補正するように入力データを変換する手段を有することを特徴とする電子機器。

【請求項 3】

前記表示手段の表示の向きを変更するときに、電子機器上で動作中のアプリケーションプログラムを変更するように制御する制御手段を有することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の電子機器。

【請求項 4】

前記表示手段の表示の向きを変更したときに、変更した表示の向きで実行可能なアプリケーションプログラムを前記表示手段に表示するように制御する制御手段を有することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の電子機器。

【請求項 5】

前記検出手段の検出結果に応じて変更される前記表示手段の表示の向きに応じて前記入力手段の少なくとも一部の入力機能を変更する手段を有することを特徴とする請求項 1 に記載の電子機器。

【請求項 6】

前記入力手段は、操作者が操作する操作部と、該操作部の操作に応じて入力データを発生する入力部からなり、前記操作部が前記入力部上に着脱可能で表裏の何れの向きでも装着可能であるとともに、

前記操作部が表裏の何れの向きで装着されているか検出する検出手段と、

該検出手段の検出結果に応じて前記入力手段の少なくとも一部の入力機能を変更する手段を有することを特徴とする請求項 1 に記載の電子機器。

【請求項 7】

前記検出手段の検出結果に応じて前記表示手段の表示画面の一部の領域の表示の向きを変更するように制御する制御手段を有することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の電子機器。

【請求項 8】

特定のアプリケーションプログラムの動作時は、前記表示手段の表示の向きを前記入力手段の向きに関わらず特定の表示の向きとするとともに、前記特定のアプリケーションプログラムの起動時に、前記検出手段により検出される前記入力手段の向きが前記特定の表示の向きに対応していない場合、操作者への警告情報を出力するように制御する制御手段を有することを特徴とする請求項 1 に記載の電子機器。

【請求項 9】

特定のアプリケーションプログラムの動作時は、前記表示手段の表示の向きを前記入力手段の操作部の向きに関わらず特定の表示の向きとするとともに、前記特定のアプリケーションプログラムの起動時に、前記検出手段により検出される前記操作部の向きが前記特定の表示の向きに対応していない場合、操作者への警告情報を出力するように制御する制御手段を有することを特徴とする請求項 2 に記載の電子機器。

【請求項 10】

前記入力手段を回転させるモーターと、

特定のアプリケーションプログラムの動作時は、前記表示手段の表示の向きを前記入力手段の向きに関わらず特定の表示の向きとするとともに、前記特定のアプリケーションプログラムの起動時に、前記検出手段により検出される前記入力手段の向きが前記特定の表示の向きに対応していない場合、前記モーターにより前記入力手段を回転させて入力手段の向きを前記特定の表示の向きに対応した向きにするように制御する制御手段を有することを特徴とする請求項 1 に記載の電子機器。

【請求項 11】

前記入力手段の操作部を回転させるモーターと、

特定のアプリケーションプログラムの動作時は、前記表示手段の表示の向きを前記操作部の向きに関わらず特定の表示の向きとするとともに、前記特定のアプリケーションプログラムの起動時に、前記検出手段により検出される前記操作部の向きが前記特定の表示の向きに対応していない場合、前記モーターにより前記操作部を回転させて操作部の向きを前記特定の表示の向きに対応した向きにするように制御する制御手段を有することを特徴とする請求項 2 に記載の電子機器。

【請求項 12】

操作者が操作して情報を入力するための入力手段と、情報を表示する表示手段を有し、前記入力手段が向きを変更できるように回転可能に設けられた電子機器の制御方法であって、

前記入力手段の向きを検出し、その検出結果に応じて前記表示手段の表示の向きを変更するように制御することを特徴とする電子機器の制御方法。

【請求項 13】

操作者が操作して情報を入力するための入力手段と、情報を表示する表示手段を有し、

前記入力手段は、操作者が操作する操作部と、該操作部の操作に応じて入力データを発生する入力部からなり、操作部が入力部上で向きを変更できるように回転可能に設けられた電子機器の制御方法であって、

前記操作部の向きを検出し、その検出結果に応じて前記表示手段の表示の向きを変更するように制御するとともに、

前記操作部の操作部位と、該操作部位の操作により前記入力部が発生する入力データとの対応関係が操作部の向きによりずれるのを補正するように入力データを変換することを特徴とする電子機器の制御方法。

【請求項 1 4】

操作者が操作して情報を入力するための入力手段と、情報を表示する表示手段を有し、前記入力手段が向きを変更できるように回転可能に設けられた電子機器の制御プログラムを格納したコンピュータにより読み取り可能な記憶媒体であって、

前記入力手段の向きを検出し、その検出結果に応じて前記表示手段の表示の向きを変更するように制御するための制御プログラムを格納したことを特徴とする記憶媒体。

【請求項 1 5】

操作者が操作して情報を入力するための入力手段と、情報を表示する表示手段を有し、前記入力手段は、操作者が操作する操作部と、該操作部の操作に応じて入力データを発生する入力部からなり、操作部が入力部上で向きを変更できるように回転可能に設けられた電子機器の制御プログラムを格納したコンピュータにより読み取り可能な記憶媒体であって、

前記操作部の向きを検出し、その検出結果に応じて前記表示手段の表示の向きを変更するように制御するとともに、

前記操作部の操作部位と、該操作部位の操作により前記入力部が発生する入力データとの対応関係が操作部の向きによりずれるのを補正するように入力データを変換するための制御プログラムを格納したことを特徴とする記憶媒体。